REC NEWS LETTER

Vol.３３
発行日：2009 年 6 月 25 日
Ryukoku Extension Center


REC 滋賀
（瀬田学舎　REC ホール）


REC 京都
（深草学舎　紫光館）


REC 東大阪
（クリエイション・コア東大阪）



お知らせ

龍谷大学福祉フォーラム
第５回共生塾を開催します！

龍谷大学福祉フォーラム第５回共生塾では、「輝け生命、孤立からのネットワーク」と題して、生命の大切さを考える企画を開催いたします。日程は次のとおりです。ご関心ある方はふるって、ご参加ください。
（教職員無料・当日受付）

6月27日（土）　13：30～16：30　「生命を守る地域づくり」
講　　師：高橋　典成 氏（特定非営利活動法人　輝け「いのち」ネットワーク代表）
豪雪、貧困、多病の三重苦にあえぎながらも、全国に先駆けて老人医療、乳幼児医療費の無料化を図った岩手県沢内村（現西和賀町）の取組を紹介。生命を守る地域づくりから、今日的課題を探ります。
※10:30～12:20　オプション　入場無料・参加自由
映画「いのちの作法―沢内『生命行政』を継ぐ者たち」を上映

7月 4日（土）　13：30～16：30　「自殺の実態と予防の課題」
講　　師：山口　和浩 氏（特定非営利活動法人　自死遺族支援ネットワークＲｅ代表）
日本で自殺に関する詳細なデータを集めた「自殺実態 1000 人調査」とそれをまとめたＮＰＯ法人「ライフリンク」の活動を取り上げます。1998 年以来、国内での自殺者が 11 年連続で 3 万人を超える今の実態と予防の現場から今後の課題を考えます。

【詳細】 http://rec.seta.ryukoku.ac.jp/fukushi/jigyo/sym/lecture05.html

ご報告

２００９年度
前期学生ベンチャー育成プログラム実施報告

「学生ベンチャー育成プログラム」は、起業やキャリアアップを目指す学生を支援するプログラムです。ビジネスに必要な基礎知識（事業計画、マーケティング、財務など）や基礎能力（発想力、課題発見能力、コミュニケーション能力など）、プレゼンテーション能力を養成するとともに、個人の保有するビジネスアイディアや起業計画を具体的なビジネスプランにまとめ上げる能力を養成することを目的としています。

前期は、起業家の方をお招きしたベンチャー講演会を 3 回、実践的スキルを身につける学生ベンチャー育成講座を 2 講座、合宿形式で集中的にビジネスプラン（アイデア）の創造をトレーニングするベンチャー合宿を開催しました。

参加している学生は、それぞれ「卒業後起業を目指す」、「就職後資金や人脈を得てから起業を目指す」や「就職活動にも役に立つ」、「自分自身のスキルアップのため」などの考えを持っており、積極的にロールプレイングやグループワークをおこなっていました。

後期はビジネスプランの具体的作成や、プレゼンテーションのスキルアップをはかる講座等、12 月に予定している、ビジネスプランコンテスト「プレゼン龍」に向けての準備、ブラッシュアップをおこなっていきます。


ベンチャー合宿での様子

ＨＯＴ　地域イノベーション創出総合支援事業「シーズ発掘試験」に、本学から９件の研究テーマが採択されました！

今回採択された「シーズ発掘試験」制度は、独立行政法人 科学技術振興機構（ＪＳＴ）が、全国の大学（研究機関）が有する新規性、独創性に優れる研究シーズに対して、その実用化を期待して研究支援をおこなうものです。全国から 7865 件の応募のうち、2062 件が採択される厳しい競争率の中で、本学からは関西の私立大学では 2 番目に多い、以下の 9 件が採択されました。

研究課題名	代表研究者
配水管網の総合管理支援プロトタイプシステムの開発	理工学部　宇土　顯彦 教授
認知症高齢者および発達障害児の認知機能評価システムの開発	理工学部　小堀　聡 教授
難燃焼性純六方晶窒化ホウ素の革新的焼結技術の開発と応用	理工学部　大柳　満之 教授
蛍光発光で簡便に検出できる分子センサーの開発	理工学部　宮武　智弘 准教授
液液界面全電解用フローセルを用いた血清中カルシウムイオンの高精度定量	理工学部　糟野　潤 助教
心理音響指標を用いた新しい音インタフェイスの開発	理工学部　三浦　雅展 講師
語句の重要度に基づく音声ドキュメント検索手法の開発	理工学部　南條　浩輝 助教
琵琶湖の漁業資源保全のための河川河口部環境再生計画の立案	理工学部　遊磨　正秀 教授
水中プラズマと光触媒を用いた新たな廃水処理技術の開発	理工学部　浅野　昌弘 助教

※申請においては研究を実施する「研究者」と、実用化を支援する「コーディネータ（ＲＥＣ）」が連名で応募し、本学から採択された案件は９テーマとも、200 万円程度の試験研究費が交付されます。（研究期間は 2010 年 3 月末まで）

ご報告　「親鸞聖人と本願寺の歴史に学ぶたび」が開催されました

2008 年春期より開催してきた「親鸞聖人 750 回大遠忌オープンカレッジ」の第 6 回が 6 月 9 日に、第 7 回が 6 月 20 日に開催されました。

このオープンカレッジは、関西在住者以外にも本願寺や本学に親しみと理解を深めてもらうため、本願寺と龍谷大学が共同で企画したものです。

今期は1日日帰りのプログラムで実施し、一般公開されていない重要文化財・国宝の建物を会場とした講義・お茶席など非日常空間を満喫していただきました。

2008年春期・秋期に続いて開講した今期は、愛知や岐阜、東京等在住の方からの申込が多く、9日、20日あわせて約150名の方にご参加をいただきました。



国宝・唐門での解説に、熱心に聞き入る参加者の皆さん

７月のＲＥＣ活動

7 月 4 日(土)　福祉フォーラム第 5 回共生塾
「自殺の実態と予防の課題」
〃　ＲＥＣコミュニティカレッジ大阪第 3 回
7 月 5 日(日)　福祉フォーラム第 3 回専門セミナー
「成人期を見通した学童保育専門職のしごと」
7 月 11 日(土)　ＲＥＣコミュニティカレッジ東京第 3 回開催
7 月 19 日(日)　福祉フォーラム第 3 回専門セミナー
「成人期を見通した学童保育専門職のしごと」

REC NEWS LETTER　Vol.33
編集：ＲＥＣ事務部
http://rec.seta.ryukoku.ac.jp/
● ＲＥＣ滋　賀　ＲＥＣホール　（内線 7744）
● ＲＥＣ京　都　紫光館 5 階　（内線 6504）
● ＲＥＣ東大阪　クリエイション・コア東大阪
産学連携ｵﾌｨｽ 2212 号（06-6748-8228）

REC NEWS LETTER は毎月発行。次回は、7 月 27 日頃発行します。